港区区民景観セレクション選定景観（第１回～第６回）一覧（★はグランプリ）

テーマの名称	選定数
街かど	11件
ランドマーク	8件
自然・地形	7件
水辺（水）	17件
通り	9件
歴史・文化	5件
合計	57件

▼平成29年度　第１回区民景観セレクション（テーマ：「街並み・街かどの景観」）

写真					
受賞景観	堀田坂から高陵中学校までのけやき並木★	プラチナ通りのイチョウ並木	日向坂から綱の手引坂	芝浦運河通りのメタセコイヤ	三田二丁目交差点からの夕暮れの東京タワー
テーマ	街並み・街かど	街並み・街かど	街並み・街かど	街並み・街かど	街並み・街かど

▼平成30年度　第２回区民景観セレクション（メインテーマ部門：「昔ながらの雰囲気や寺町の風情など、味わい深い歴史・文化を感じる景観」）

写真											
受賞景観	台場とその周辺★	明治神宮外苑のイチョウ並木★	烏森神社の参道	白金二丁目の樹木とお蔵のある邸宅の界隈	けやき坂のイルミネーション	神明坂から見る石垣と東京タワー	保安寺の参道	旧台徳院霊廟惣門と東京タワー	竹芝桟橋のボードウォーク	新芝運河に面したオープンテラス	レインボーブリッジから見るお台場方面
テーマ	歴史・文化	通り	歴史・文化	歴史・文化	通り	街かど	街かど	ランドマーク	水辺	水辺	水辺

▼令和元年度　第３回区民景観セレクション（メインテーマ部門：「東京タワーの見える、とっておきの景観」）

写真										
受賞景観	御成門交差点付近から見る東京タワー★	増上寺と東京タワー	レインボーブリッジから見る東京タワー	品川シーズンテラスから見る東京タワー	増上寺北側の通りから見る東京タワー	考寿院へ向かう石段から見る東京タワー	区役所前の並木道	本氷川坂へ向かう通り	桜田通り沿いの明治学院大学	芝浦アイランドの船着場
テーマ	東京タワー	東京タワー	東京タワー	東京タワー	東京タワー	東京タワー	通り	通り	ランドマーク	水辺

▼令和２年度　第４回区民景観セレクション（メインテーマ部門：「風情ある坂道や階段、斜面に沿った緑地など、地形を感じる景観」）

写真										
受賞景観	愛宕神社参道の石段★	麻布十番商店街にある広場「パティオ十番」★	赤坂氷川神社（氷川坂から）	六本木さくら坂	赤坂三分坂	有栖川宮記念公園の散策路	愛宕隧道と愛宕山	南部坂	高浜運河から望むライトアップされた御楯橋	日の出桟橋倉庫群
テーマ	地形	街かど	地形	地形	地形	地形	地形	地形	水辺	水辺

▼令和３年度　第５回区民景観セレクション（メインテーマ部門：「水とともにある港区らしい景観」）

写真											
受賞景観	新芝運河沿緑地（みなとパーク芝浦付近）★	有栖川宮記念公園の水辺	檜町公園の水辺	新芝運河とウォータータクシー	芝浦西運河（渚橋の近くから）	レインボーブリッジから見る芝浦埠頭	レインボーブリッジのループ橋（海岸三丁目から）	レインボーブリッジのループ橋とスカイライン	芝浦中央公園の水辺	旧芝離宮恩賜庭園（西湖の堤とボートデッキ）	青山霊園とスカイライン
テーマ	水とともにある景観	水とともにある景観	水とともにある景観	水とともにある景観	水とともにある景観	水とともにある景観	水とともにある景観	水とともにある景観	水とともにある景観	歴史・文化	歴史・文化

▼令和４年度　第６回区民景観セレクション（メインテーマ部門：「お気に入りの通り、おすすめの街かどの景観」）

写真										
受賞景観	静寂と緑に包まれる綱坂★	お台場海浜公園とスカイライン★	都心の芝桜	おばけトンネル（高輪橋架道橋）	いろは通りの芝の家と芝のはらっぱ	東京ミッドタウンの桜並木	東禅寺に向かう道	芝浦のクロスロード	港区立伝統文化交流館（旧協働会館）	五色橋周辺から見た運河とモノレール
テーマ	**通り**・街かど	水辺	通り・**街かど**	**通り**・街かど	通り・**街かど**	**通り**・街かど	**通り**・街かど	**通り**・街かど	通り・**街かど**	水辺

第28回 港区景観審議会における「公募テーマ」に関する主な意見
（令和５年３月17日開催）

意見要旨
セレクションを選定した結果として、選定数が少ない地域が生じるのは仕方ないのでは。案③のように特定の地区を強く誘導するようなテーマは行政としてふさわしくない。
場所に関するテーマに捉われるのではなく、時間ごとの風景という切り口もあるのではないか。赤坂には夜景の良さがある。
表面的な坂や塀ではなく、思わず心が動く瞬間といったテーマでも良いのではないか。地域ごとに選定数の偏りが生じることを懸念するなら、人口比まで加味して検証すべき。
景観形成の基本方針４をバックアップするテーマはどうか。地域のボランティアで植えたバラなど、区民が自発的に参加して作った新しい景観を発見してもらう。
港区には自然と建物が調和した景観が多いが、あえて建物を避けて撮影した応募写真も多いように感じる。観光写真を選定する訳ではないので、都心部としてあるべき景観を見つけてもらうことが大事。将来的なテーマでも良いが、10年20年経過した建物の景観などはどうか。
景観という言葉の定義にもよるが、目に見えるものだけではなく、賑わいや地域の文化も評価に含まれるテーマも、新たな魅力が発見されるのではないか。
「ほっとする」、「和む」、「思わず歩きたくなる」といった、人の気分や気持ちをテーマに添えてはどうか。例えば麻布地区であれば「上品」や「不思議」など、色んな人で感想を述べあって言葉を抽出すると良い。
季節や夜景のテーマは以前から提案してきた。事務局案の「なじみある」、「隠れた」、「小粋な」などは応募者にとってハードルが高く感じるのではないか。「元気」、「しっとり」など分かりやすい言葉が良い。
プライベートな応募写真が増えないよう、応募者にとっても選定する側にとっても、難しくない言葉選びをすること。
大規模開発を行うデベロッパーにも地域の思いが伝わるよう、「残したい景観」というテーマにするのも良い。
テーマというのは、「どのような港区にしたいか」というビジョンだと思っている。事務局案①②は、そのビジョンに該当しないのではないか。「住みたい」、「歩きたくなる」などの言葉が良い。
大学の課題で「時が刻まれたまち」、「聖なる場」という２つのテーマで学生に写真を集めてもらったところ、前者はイメージ通り、商店街などの古いものが多かったが、後者は「ずっと大切にしている」、「慈しんでいる」など、地域の人の思いや、手入れのされた風景が多かった。
テーマの末尾に「景観」と付ける必要はあるか？応募者が並木道や眺望点といった場所をイメージしてしまい、選択肢が狭まっているように思う。
「歩くこと」など、生活をイメージする言葉が良い。
「家族で」、「デートで」、「１人で」などの場面を想像する言葉も良い。
新しい建物を対象としている応募が少ない。そういった建物で働く人からの応募が増えると良い。
末尾に「景観」と付けずに、見栄えも工夫したテーマを考案してほしい。